

第 144 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 26 年 10 月 10 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 福地 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研)、内田 (電通大)
大谷 (アンリツ)、黒川 (産総研)
作田 (日本大)、竹内 (横河電機)
福本 (佐賀大)

参 加 田辺 (電中研)

幹 事 作本 (日電検)、仲嶋 (三菱電機)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

144-1 平成 27 年度 計測技術委員会活動計画 (二次案)

144-2 平成 27 年度 計測研究会開催予定 (二次案)

144-3 平成 26 年度 計測技術委員会活動状況

144-4 平成 26 年度 計測研究会開催予定

144-5-1 計測研究会プログラム (10 月開催分)

144-5-2 計測研究会プログラム (11 月開催分)

144-5-3 研究会企画連絡シート (2 月開催分)

144-5-4 平成 27 年 2 月 計測、光応用・視覚合同研究会での意見交換会の開催について

144-5-5 見学会のご案内 (案)

144-6-1 第 129 回 編修専門第 1 部会

144-6-2 A 部門編修委員会からの御報告

144-7 テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会設置趣意書

144-8 EINA マガジン原稿 (案)

議 事

1. 議事録の確認

・「6. 調査専門委員会について」の「委員長は岩佐委員から藤木氏に交代したい旨」を「産総研藤木氏を委員長とする整理委員会を立ち上げたい旨」に変更後、承認された。

2. 運営委員会報告

福地委員長より運営委員会 (9 月 11 日開催分) の報告があった。

- ・計測技術委員会の委員の交替について了承された。
- ・プラズマ技術委員会の「液界面プラズマの実験・計算モデル標準化調査専門委員会」の解散及び放電技術委員会の「放電・プラズマ気相シミュレーション技法調査専門委員会」の設置について説明があり、それぞれ承認された。
- ・調査専門委員会の終了報告について、単行本、技術報告以外の形態にする場合は、運営委員会の承認を得るという方向で検討する。
- ・技術報告書を提出していないマグネティックス技術委員会のある調査専門委員会については、元委員長が退職しており連絡がつかないために対応に苦慮している。
- ・H.27 年全国大会シンポジウムは、A 部門からの 3 件が決定している。

3. 平成 27 年度 計測技術委員会活動計画及び平成 27 年度 計測研究会開催予定
作本幹事より資料 144-1 及び資料 144-2 に基づき、平成 27 年度 計測技術委員会活動計画（二次案）及び平成 27 年度 計測研究会開催予定（二次案）について説明があった。
 - ・ A 部門大会は、9 月 18 日及び 19 日に金沢大学で開催される。
 - ・ 計測研究会の担当委員を決めた。
 - ・ 新設の調査専門委員会を計画する。

4. 平成 26 年度 計測技術委員会活動状況及び平成 26 年度 計測研究会開催予定
作本幹事より資料 144-3、資料 144-4 及び資料 144-5-1 から資料 144-5-3 に基づき、平成 26 年度 計測技術委員会活動状況及び平成 26 年度 計測研究会開催予定について説明があった。
 - ・ 今後の運営委員会は、11 月 7 日、3 月 12 日を予定している。
 - ・ 10 月の研究会は、天候不良のため開催が中止されたが、研究会は成立したこととする。
 - ・ 11 月の研究会は、佐賀大学において 11 月 20 日、21 日の 2 日間で開催する。
 - ・ 12 月の研究会は、日本大学において 12 月 19 日に開催する。
 - ・ 2 月の研究会は、徳島県のホテル千秋閣において 2 月 12 日、13 日の 2 日間で開催し、光応用・視覚技術委員会との合同研究会とする。また、電子情報通信学会光応用電磁界計測研究会との連催とし、資料は別々となる。
 - ・ 仲嶋幹事より資料 144-5-4 に基づき、意見交換会及び見学会について説明があった。資料のとおり、2 月 12 日の研究会終了後に意見交換会を予定している。意見交換会での議論内容については、余裕があれば幹事団で簡単にまとめる。
 - ・ 資料 144-5-5 に基づき、11 月 19 日に独立行政法人産業技術総合研究所 九州センターにおいて見学会を行う。見学内容については調整中で、見学会の対象者は技術委員会委員、計測研究会及び IEEE 学生研究発表会の関係者とする。また、黒川委員から、公設試にも連絡する。
 - ・ スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会は 12 月に終了するが、解散報告書を来年 1 月の技術委員会に提出する。

5. 特集論文及び特集記事提案について
白井幹事補佐より資料 144-6-1 及び資料 144-6-2 に基づき、論文誌 A の特集号及び電気学会誌の特集記事提案について説明があった。
 - ・ 2015 年 12 月の特集号の掲載時期や掲載までのスケジュール等について確認する。
 - ・ 2017 年 1 月から 6 月の間の特集号企画については、引き続き議論を行う。スケジュールによっては、計測研究会の発表論文を中心に企画することも検討する。

6. 調査専門委員会の設置について
福地委員長より資料 144-7 に基づき、テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会の設置について説明があった。
 - ・ 終了報告の形態は技術報告を予定する。
 - ・ 次回の当委員会でもう一度審議した後、来年 3 月の運営委員会に提出し、4 月発足を予定する。

7. EINA マガジンについて
福地委員長より資料 144-8 に基づき、EINA マガジンの記事について説明があった。
 - ・ 内容については、A 部門大会のポスターをベースにしている。
 - ・ 図表については、各著者に作成を依頼している。
 - ・ 記事の最後に著者名を入れたらどうかとの意見があった。

8. その他

- 学生研究発表会の会場費について、IEEE から出せないかとの質問があった。
- IEEE の AWARD 候補者について、12 月の学生研究発表会終了後に採点を取りまとめ、次回の委員会で報告する予定である。
- 2013 年度の IEEE の AWARD 表彰式は、12 月に行う。
- スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会からはシンポジウムの提案は行わない。

次回予定

日 時 平成 27 年 1 月 16 日 (金) 14:30 ~ 17:00

場 所 未定